

# J P C 2019

## 日本の都市特性評価

東京多摩版

J A P A N   P O W E R   C I T I E S   2 0 1 9 : T O K Y O   T A M A

JP Cでは、東京都においては、23区のみを対象都市として選定し、調査を行っているが、今回、「JP C 2019-東京多摩版」用に、選定基準を新たに設定し、東京都下から6都市(多摩市、町田市、八王子市、府中市、武蔵野市、立川市)を選定し、パイロット調査を行った。(なお、「日本の都市特性評価 DATABOOK 2019 (2019年10月発売予定)」には、本調査の結果は含まれない。)

### 選定基準

人口20万人以上の都市、もしくは  
昼夜間人口比が1.0以上の都市

### 評価手法

JP C 2019の83指標の定義に沿って、6都市分のデータを収集した。収集したデータは、JP C 2019本編の値を基準に指数化し、指標グループ別スコア、分野別スコア、合計スコアを算出した。

東京都市区町村 人口および昼夜間人口比率(人口順)

人口	昼夜間 人口比	人口 20万以上	昼夜間人口比 1.0以上	JP C-2019- 東京多摩版対象都市
八王子市	576,240	1.00	○	○
町田市	396,333	0.92	○	○
府中市	245,693	0.94	○	○
立川市	201,294	1.14	○	○
調布市	197,864	0.86		
小平市	166,779	0.88		
三鷹市	165,721	0.89		
日野市	163,592	0.88		
武蔵野市	157,319	1.09	○	○
西東京市	157,135	0.79		
多摩市	148,156	1.01	○	○
青梅市	124,145	0.90		
東村山市	119,897	0.80		
国分寺市	104,735	0.85		
小金井市	104,257	0.86		
昭島市	101,452	0.91		
東久留米市	92,727	0.80		
国立市	72,066	0.98		
あきる野市	69,906	0.86		
稲城市	68,782	0.78		
東大和市	68,474	0.80		
武蔵村山市	67,614	0.95		
清瀬市	64,456	0.86		
狛江市	59,204	0.74		
福生市	52,564	0.90		
羽村市	51,875	0.93		

出典元：総務省「平成27年国勢調査」

- 東京多摩都市
- JPC 対象都市 東京23区



マップ出典: <https://power-point-design.com/>

# 日本の都市特性評価 2019－東京多摩版 結果分析

※2019年10月発売予定の「日本の都市特性評価Japan Power Cities DATABOOK 2019」に、本調査の結果は含まれません。

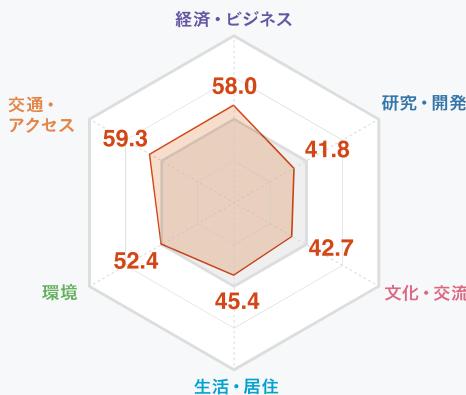


# 多摩市 TAMA-CITY

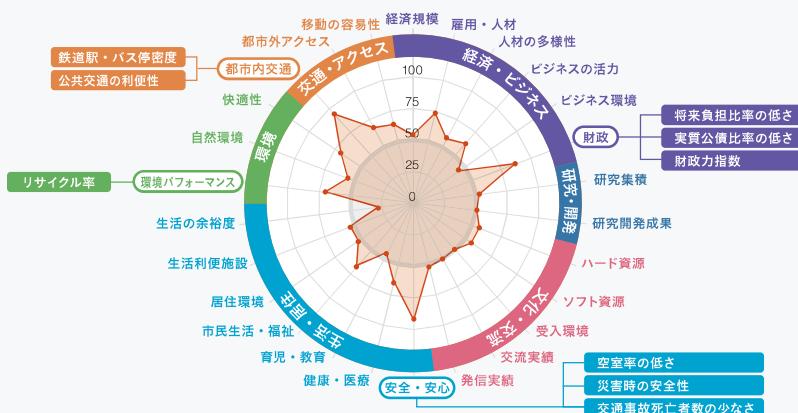
経済活動が活発で、利便性が高い都市

多摩市は、住宅だけでなく商業・業務の機能も集積しており、経済・ビジネスで高評価となった。交通・アクセスの「都市内交通」でも突出した強みをみており、その理由として、交通渋滞が少なく、鉄道駅・バス停密度が高いことが挙げられる。その他で特に評価が高かったのは、「安全・安心」「市民生活・福祉」「環境パフォーマンス」であり、交通事故死亡者数が少ない、要支援・要介護高齢者割合が少ない、再生可能エネルギー自給率が高い、といった特徴がそれぞれ挙げられる。経済活動が活発な都市であると同時に、利便性が高く住みやすい都市であるといえる。

### 分野別の順位・偏差値



### 指標グループ別の強み・弱み

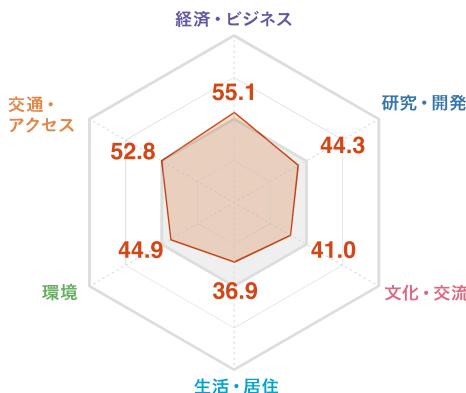


町田市 MACHIDA-CITY

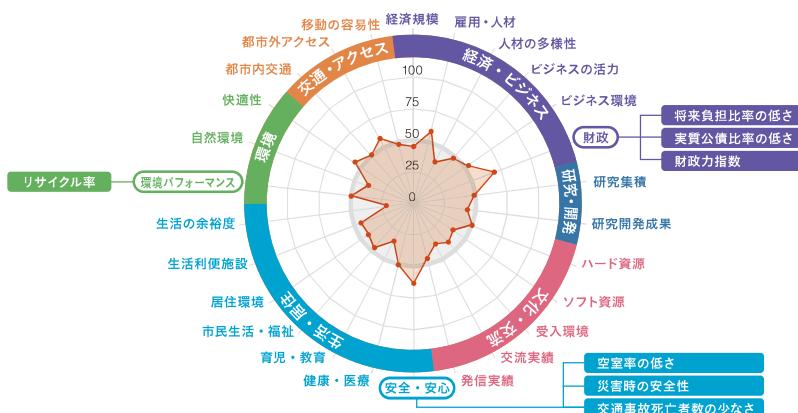
## 活力溢れる住みやすい都市

物流、交通の要衝である町田市は、経済・ビジネスで高評価を獲得した。特に「財政」が安定しており、さらに「雇用・人材」の評価が高かった。その他の分野では、「安全・安心」が突出して高い評価となっており、特に空家率の低さでスコアを伸ばしている。町田市は活力溢れる住みやすい都市と評価することができる。

### 分野別の順位・偏差値



### 指標グループ別の強み・弱み



凡例

高評価を得た  
指標グループ 指標

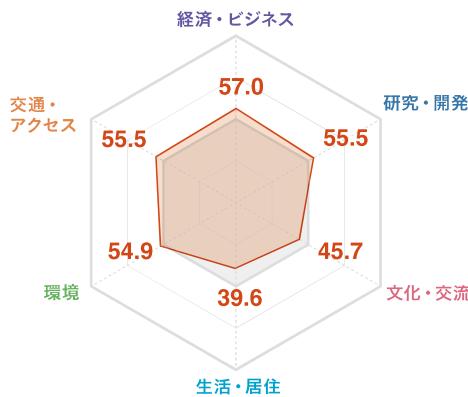


## 八王子市 HACHIOUJI-CITY

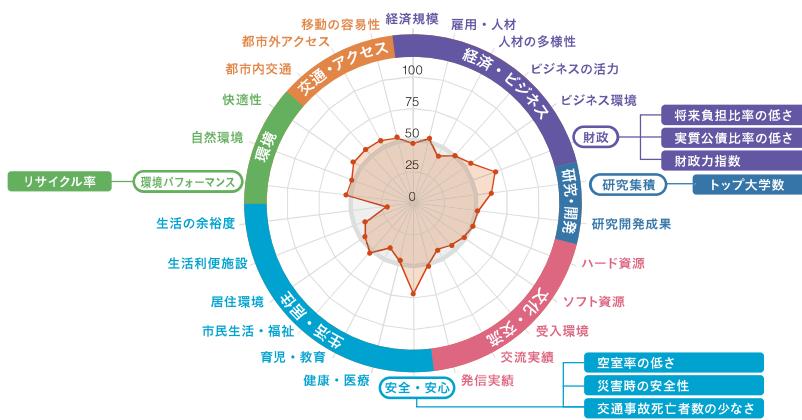
### 自然と知的集積を併せ持つバランス型都市

「市民力・地域力」を結びつけ「活力ある魅力あふれるまち」の実現を目指している八王子市は、経済・ビジネス、研究・開発、環境・アクセス分野それぞれが平均以上の強みを有する都市である。中でも、研究・開発の評価が高く、市内には20あまりの大学等が立地しているため、トップ大学数の指標で高スコアを獲得した。**生活・居住**においては、分野全体の評価は比較的低いものの、「安全・安心」のスコアは極めて高い。全体を評価すると八王子市はバランス型の都市であるといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の強み・弱み

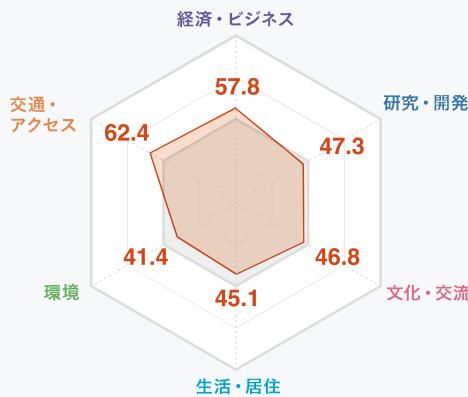


## 府中市 FUCHU-CITY

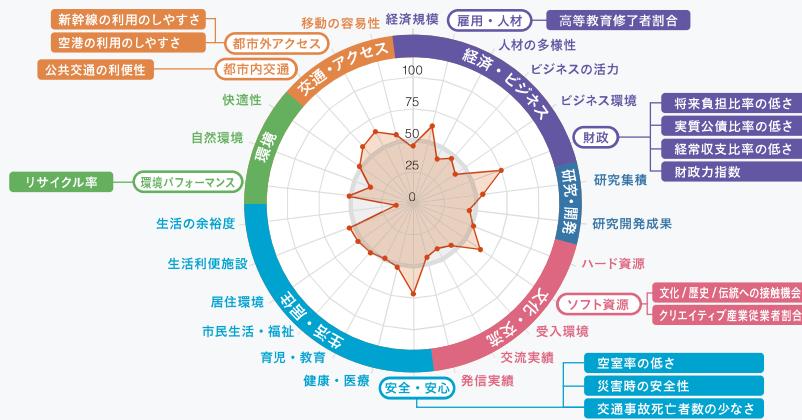
### 東京都下の強みと特化した強みを有するバランス型都市

「みどり・文化・にぎわいのある洗練された都市」を目指す府中市は、経済・ビジネスと交通・アクセスに強みを有する都市である。経済・ビジネスでは、「財政」に加え、「雇用・人材」における高等教育修了者割合で高い評価を得た。また、交通・アクセスに関しては、「都市外アクセス」や「都市内交通」のスコアが高いが、これは羽田空港や新幹線駅を有する東京都下ならではの強みである。また、生活・居住における「安全・安心」や、文化・交流における「ソフト資源」など、各分野の中していくつかの特化した強みを有していることがわかった。府中市全体としてみると、バランス型の都市であるといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の強み・弱み



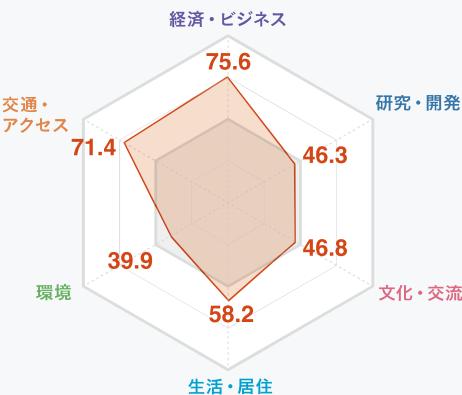


## 武藏野市 MUSASHINO-CITY

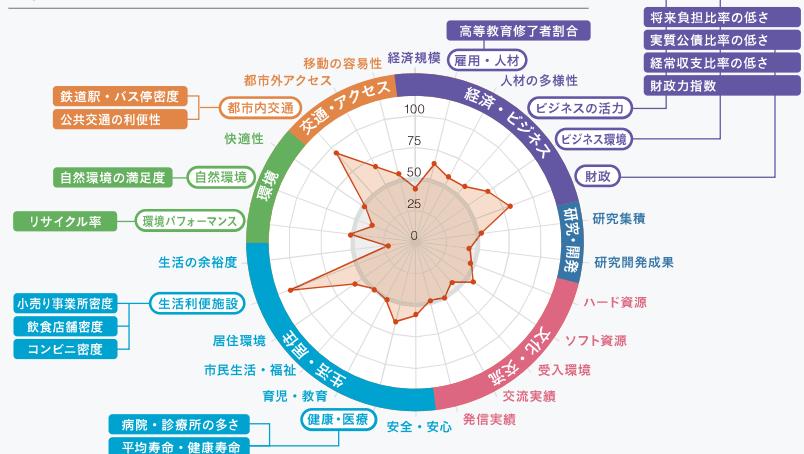
### 経済力・居住性・交通利便性を兼ね備えた人気の都市

様々な調査で住みたいまちとして高い評価を得ている武藏野市は、**生活・居住**における「生活利便施設」の評価の高さに加え、**交通・アクセス**の「公共交通の利便性」においても極めて高い評価を得た。また、**環境**の中の自然環境の満足度に関しては、対象全都市の中でもトップクラスの評価であることから、居住者から見たときの自然環境の評価はかなり高いことがわかる。さらに、**経済・ビジネス**における「財政」や「雇用・人材」、「ビジネスの活力」、「ビジネス環境」でも高評価を得ていることから、区部と多摩部の両方の良さを兼ね備えているといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の強み・弱み



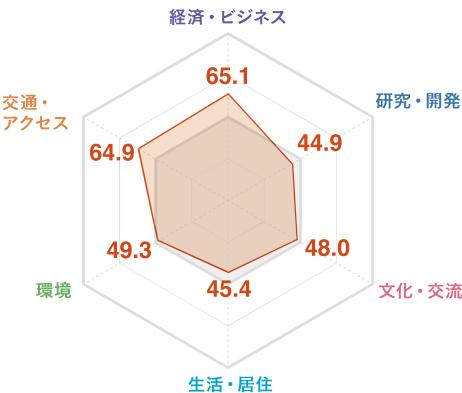
昭和記念公園

## 立川市 TACHIKAWA-CITY

### 交通の強みを生かした中心駅集積型のバランス型都市

立川駅を中心に産業や文化を集積させ、多様な交流を生み出し、さらなる発展を目指している立川市は、**交通・アクセス**、**経済・ビジネス**に強みを有する都市である。**交通・アクセス**では、「鉄道駅・バス停密度」に加え、「公共交通の利便性」において高評価を得た。また、**経済・ビジネス**に関しては、「ビジネス環境」の一指標である、新規オフィス供給面積（既存従業員1人あたりに新規に供給されたオフィス面積量）が大きく、その値は千代田区に次ぐ。その他分野をみると総じて平均的な強みを有しており、立川市はバランス型の都市であるといえる。

分野別の順位・偏差値



指標グループ別の強み・弱み

